

つどい

東葛偕行会総会に続き活動開始

千葉県東葛偕行会（河村和甫会長）は、

4月16日（土）に柏市内の麗澤大学内に

あるキャンパスプラザ会館において、平

成28年度総会を行った。

今年度は、役員の新返りを図るとともに、東葛地区内にある松戸駐屯地等自衛隊との関係をさらに緊密にしていこうと、会の活性化を図ることとした。

また総会終了後、同じ偕行社会員でもあり、元中央即応集団司令官の柴田幹雄氏による「新たな安保関連法と自衛隊」の演題で講演会を開催し、最新の防衛認識の向上を図った。柴田氏は、米国防衛隊の経験と部隊経験を踏まえて、新しい自衛隊の任務について具体的に説明し、出席者に大きな感銘を与えた。

早速5月7日には、振武台連絡会代表世話人の奈良部幹事の案内で、朝霞駐屯地振武臺記念館の研修を行った。奈良部



幹事と駐屯地広報センターの係員から懇切丁寧な説明を受け、昭和16年から終戦までの大東亜戦争中の陸軍予科士官学校の歴史を学び取ることが出来た。厳しい戦局の中、戦地赴任を直前にした当時の日本を代表する優秀な若者の真剣さに改めて敬服した次第である。

なお、奈良部幹事は、予科士官学校解散時に田中象二区隊長に送った長さ5mに及ぶ全員員の「寄せ書き」を表装した巻物一卷を、広報センターに寄贈した。

〔東葛偕行会事務局長 河野芳久〕

平成28年度香川県偕行会総会

平成28年度香川県偕行会総会は、4月29日（金）来賓5名、会員24名合計29名の出席の下、高松東急REIホテルで開催された。

総会は10時30分に始まり、国歌斉唱、次いで戦没の英霊・殉職自衛官、物故会員に対し黙祷を行う。会長挨拶では、体調不良で欠席の尾崎新会長陸自58に代わり、朝田一輝副会長長束勉49が会長の挨拶を代読紹介した。偕行社副理事長白石一郎殿より来賓祝辞を頂く。

議事に入り副会長が議長となり、平成27年度事業報告、収支決算報告、監査報告、平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）上程審議され、満場一致で提案が承認された。今年度は、英霊の顕彰を掲げるとともに、会勢の充実特に部内出

身幹部会員の入会の促進、会員相互の交流・親睦を重視するとともに、偕行社との一体化について検討を進めることとした。議案審議終了後、事務局から会長体調不良による会長職辞退の申し出に伴い新会長として後藤英機陸自66の就任が報告された。

記念講演は、11時30分より第14旅団長柴田昭市陸将補による演題「強靱な第14旅団を目指して」の講話を拝聴した。

熊本地震の発生から地震への対応、南海トラフを震源とする震災への旅団の取り組み、日米共同訓練、陸自先駆けとしての機動旅団への改編、少子化による厳しい募集環境について熱く語られた。

講演を拝聴し、第14旅団の現況を認識するとともに、29年度機動旅団改編完成の姿を想像し、更なる郷土部隊応援への思いを強くした。

12時50分より懇親会に移り、来賓の自衛隊香川地方協力本部長酒瀬川友博1等陸佐、香川県隊友会長林政夫殿より御祝辞を頂いた。祝電披露引き続き大塚良和会員陸自71による詩吟「神州」を吟詠の後、陸自61渡邊典雄会員の乾杯の音頭で祝宴に入る。途中、新入会員の紹介・挨拶、懇親会が佳境に入り、恒例の軍歌演習へと進み、軍歌「山紫に水清き」隊歌「理想の歌」続いて「陸上自衛隊幹部候補生学校校歌」、「陸軍士官学校校歌」と全員囀声を張り上げて合唱し、大いに盛

り上がったところで、陸自61菊地昭夫会員の発声で万歳三唱。14時50分、名残を惜しみつつ散会した。

事務局長 大西邦彦陸自69

愛知偕行会総会（事務局）

平成28年度定期総会は、5月15日、会場を一昨年までに戻しホテルプラ王山2階「金鯱の間」において、来賓・会員約60名の参加を得て開催された。

泉理事陸自63の司会で国歌斉唱、戦没者・殉職自衛官・熊本地震・当会物故者に対する黙祷に続き、水野会長の挨拶では、本年度中に陸自幹部OB会員の数を200名と倍増するとの決意の元、昨年度から推進中のPR文掲載名刺の配布等施策を強化して全会員一九となって会員獲得

に向けてアクションを起こすことを呼び掛けられた。

次いで、松本副会長陸自70を議長に選出、同氏の進行により、第1号議案 平成27年度事業報告、会計報告、会計監査報告

第2号議案平成28年度事業計画（案）第3号議案 役員選任（案）

と審議が進められ、満場一致で承認された。議事審議終了後の偕行社副理事長深山明敏様の祝辞では、当会が従前会員から陸自OB会員への移行が整育と行われているとの認識、熊本地震への義援、弘前偕行社修復への支援等、活動状況の紹介及び会員各位の協力・謝意に対し、今後の支援依頼等が述べられた。

講演会では、副理事長深山明敏先生により「戦後70年に思う」と題し、満洲事



陸自幹部OB会員と現職自衛官



青木曹長（ご息女）への感謝状贈呈

変から大東亜戦争に至る経緯と歴史認識
に關し、著名人等のコメント等を紹介す
る資料をいただき、これを片手に拝聴し
た。会員各人に取って、我が国の近現代
史を整理して理解・認識する上で大いな

感謝状

陸上自衛隊第十特殊武器防護隊

陸曹長 青木勇一 殿

あなたは隊務に精励する傍ら平成二
十五年三月ころから毎出勤日の勤務時
間前に陸上自衛隊守山駐屯に建立され
ている日露戦争から大東亜戦争までの
愛知県内旧陸軍戦没者慰霊碑及び第十
師団地区内自衛隊殉職隊員慰霊碑の清
掃、供花、参拝などを続けておられま
す。

これは雨の日も風の日も欠かさずこ
なく日課として取り組まれ正にわが民
族に古来受け継がれている祈りとも
にある生き方を体現し万民すべから
かくあるべしと示すものでありまた英
霊の慰霊顕彰を設け目的の一つに掲げ
る公益財団法人偕行社及び同会会員等
で組織する愛知偕行会とその志を同じ
くするもので誠に喜ばしくありがたい
ことでありこれが駐屯地所在隊員皆様
に広がりさらにはあまねく全国へと広
がって行くことを願いつつここに記念
の品を添えて深甚なる感謝の意を表し
ます。

平成二十八年五月十五日
愛知偕行会会長 水野雅幸 印

る示唆を得ることができた。

続く催しとして佐々江岳豊師範による
九段の桜など2題の吟詠、伊藤茂夫2曹
をリーダーとする陸上自衛隊第10音楽隊ア
ンサンブルによる音楽演奏を堪能した。

懇親会に先立ち、陸自守山駐屯地の戦
没者慰霊碑及び自衛隊殉職隊員慰霊碑の
清掃・参拝・供花等を数年来続けておら
れる第10特殊武器防護隊所属の青木曹長
に対し、当会会長から同志として感謝状
を贈呈した。ご本人は、公務のためご臨
席いただけなかったため、ご息女お2人
に対して伝達させていただいた。(上
記・感謝状)

懇親会は、陸自68木原理事の司会で進
行し、水野会長挨拶の後、守山駐屯地司
令古田清悟様、航空自衛隊小牧基地司令
野中盛様のご挨拶で、当会活動へのお礼
と、今後への支援・協力のご依頼等をお
話いただいた。

次いで、岐阜県偕行会会長陸自57国枝金
正様の音頭で乾杯し懇談へ移った。宴は、
参加者相互に情報や意見の交換で親交を
深めつつ、恒例の軍歌演習で盛り上がり、
最後は、「陸軍士官学校校歌」、「陸上自
衛隊幹部候補生学校校歌」で締めくく
り、愛知県隊友会守山地区隊友会長陸自
109堀部敏之氏の音頭で万歳三唱、陸自62
白山理事の閉会宣言で終了した。